

平成26年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価(※)	所管課による評価(※)	総合評価(※)
秋川ファーマーズセンター	平成26年4月1日～ 平成31年3月31日 (5年間)	環境経済部 農林課 農政係	平成26年度は大雪によるハウスの倒壊により、トマトの出荷が大幅に減少し、とうもろこしの出荷量も減少した。一方、秋は豊作で野菜の価格が下がり売上げに影響した。このような条件のもと集客力の向上と売上げ増加を図るため、新鮮で安心・安全な農畜産物の提供、仕入れ品の工夫等を行うとともに、地場産野菜の漬物のような付加価値の高い商品の提供に努めた。また、学校給食へ積極的な食材の提供を行い、安定した商品の提供を図ることができた。	<p><市民サービスの向上> 常に利用者の立場に立った接客を行い、意見・苦情に対しても迅速に対応しており、利用者から高い評価を受けている。今後も引き続き、農業経営者の所得の安定、農業従事者の確保育成、地域産業の総合的な振興及びレクリエーション農園の推進を図り、もって地域住民等との交流を図る施設として、適切な管理運営が行われることを期待する。</p> <p><経費削減の取組> ダンボールの再利用、節電、買い物袋持参の呼びかけによるレジ袋の削減など、今後も環境へ配慮した取組を続けるよう期待する。</p> <p><指定管理者の管理に係る総括的な評価> 農畜産物の品質の向上や利用者対応については、適切に対応している。今後も、安心安全な農畜産物の安定供給に取り組むとともに、地産地消を推進する拠点として、天候に左右されにくい施設栽培や、農産物加工の販売などを導入し、あきる野農業の発展に取り組むため、農業者との連携をさらに強化していくことを期待する。</p>	A
「観光施設」 ・秋川橋河川公園	平成26年4月1日～ 平成29年3月31日 (3年間)	環境経済部 観光まちづくり活動課 秋川溪谷観光係	<p>台風の影響で計画していた開園日数に達しなかったものの、利用者は増加した。また、経費削減に努め、支出総額は昨年比5,054,425円の減少につながった。利用者数、収益額は安定して推移しており経営状況は良好である。</p> <p>今後も引き続き、利用者の安全管理の徹底を図るとともに河川を活用したレクリエーション・環境学習の場として施設運営に努めていく。</p>	<p><市民サービスの向上> 利用者に対する事故防止の注意喚起や食材のデリバリーサービスを実施し、安全確保や利便性向上に取り組んでいるほか、管理区域内外の清掃や枯れ枝の処理、花壇の整備など公園周辺の環境美化に努めるなど、利用者と近隣住民に配慮し、サービスの向上に取り組んでいる。</p> <p><経費削減の取組> 利用者に配慮しながら、節電と節水に努め、経費削減を達成している。</p> <p><指定管理者の管理に係る総括的な評価> 利用者数と収支状況を見てみると、利用者数については前年度比約5,000人の増加、収入については電車での来園者が増え、駐車場の利用者数が減ったため、8,497千円減少している。収益額は昨年と比べ約3,443千円減少しているものの、約26,819千円の収益があり、光熱水費などの経費削減の努力が認められる。また、過去5年間の収支状況も安定しており、経営状態は良好である。</p> <p>秋川橋河川公園は、武蔵五日市駅から徒歩5分という立地条件に加え、施設の規模や内容も充実していることから、特にゴールデンウィークや夏休み期間中はバーベキューをしながら川遊びをする家族連れも多く盛況である。また、地域事業者と連携し食材のデリバリーサービスを実施するなど利用者へのサービス向上に努めている。</p> <p>昨年度の課題であった繁忙期の人員不足についても今年度は改善され、十分な人員確保が実施されている。今後も引き続き積極的なサービスを展開することで更なる利用者の増加を図り、あきる野市の観光振興が図られることを期待する。</p>	A

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成26年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価 (※)	所管課による評価 (※)	総合評価 (※)
「観光施設」 ・第1水辺公園リバー サイドパークの谷	平成26年4月1日～ 平成29年3月31日 (3年間)	環境経済部 観光商工課 観光商工係	平成26年度については、夏場の悪天候の影響を受け、前年に比べ入客数が減少した。しかし、下半期については、小・中学校の課外授業など団体客の利用により入客数が増加している。今後についてもリピーターが増えるように積極的なサービスの提供を検討していく。 また、スタッフのサービス向上を図り、利用者に満足していただけるような環境整備を実施していく。	<市民サービスの向上> 利用者に対するトラブル防止や園内の清掃等利用者及び近隣住民にも配慮し、満足していただけるようサービスの向上に取り組んでいる。 <経費削減の取組> 利用者へ配慮しながら、節電及び節水に努め、経費削減に取り組んでいる。 <指定管理者の管理に係る総括的な評価> 平成26年度においては、夏場の土日の悪天候の影響を受け、入客数が前年度比94.3%となり、収支のマイナスが33万2千円となった。しかし、下半期については、高校生や大学生のサークル活動の利用が目立ち、前年度比109.8%の入客数となった。今後も、団体客等の利用客を増やし、その客が個人でのリピーターにもなるよう当バーベキュー場の特色を生かした運営を行う必要がある。 また、バーベキュー場の整備を行って受け入れ環境を整えることと同時に情報誌・ホームページなどを幅広く活用し、リピーター及び新規利用者の増大を図るように努める。人員配置・人材育成等については、下半期に費用が多かかったため再検討する必要がある。しかしながら、他のバーベキュー施設同様、繁忙期や天候等により施設の運営状況が変動するため、年間を通じた運営計画が必要である。	A
「観光施設」 ・第4水辺公園秋川ふ れあいランド	平成26年4月1日～ 平成29年3月31日 (3年間)	環境経済部 観光商工課 観光商工係	平成26年度については、夏場の台風の影響を土日に受けたものの平日の入客数増加により昨年実績を超えることができた。今後は、事故防止及び園内整備を行って利用者に満足していただけるようスタッフ一同、サービスの向上に努める。	<市民サービスの向上> 利用者に対するトラブル防止や園内の清掃等利用者及び近隣住民にも配慮し、満足していただけるようサービスの向上に取り組んでいる。 <経費削減の取組> 利用者へ配慮しながら、節電及び節水に努め、経費削減に取り組んでいる。 <指定管理者の管理に係る総括的な評価> 平成26年度においては、夏場の平日の入客数の増加により下半期及び土日の悪天候による入客数減少を補うことができ、前年度比で102.1%に増加した。民間会社や学生のサークル活動などのリピーターが多く、今後も川遊びや魚釣りを楽しみながらのバーベキューをするなどニーズを掴み、当バーベキュー場の特色を生かした運営を行う必要がある。団体客数が増加しているため、利用者に対して積極的なサービス提供を継続的に行うことでリピーターとして顧客の確保に努める必要がある。 また、バーベキュー場のホームページの充実や情報誌、新聞を幅広く活用した積極的なPR活動による新たな利用者を確保することが求められている。	A

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成26年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価（※）	所管課による評価（※）	総合評価 （※）
「十里木・長岳観光施設」 秋川溪谷瀬音の湯	平成27年4月1日～ 平成32年3月31日 （5年間）	環境経済部 観光まちづくり活動課 秋川溪谷観光係	第一に「安全・安心・清潔」をモットーとし、常に、運営改善努力をしている。集客・宣伝促進活動により、利用者数は良好に推移している。また、顧客満足度についても上向きになっていることから、今後もより一層の精進を惜しまない決意である。	<市民サービスの向上> 適正な人員配置や研修等による人材育成への取組、地域と連携したイベントの開催など、サービス向上に努めており評価できる。 <経費削減の取組> 照明のLED化や備品購入費の削減などに努めているが、光熱水費の値上がりなどにより維持管理費等が増加しているため、今後より一層の経費削減を行う必要がある。 <指定管理者の管理に係る総括的な評価> 施設全体の利用者数については、前年度比5,939人増加しており、過去3年間連続での増加となっている。利用者数の増加については、地域との協働によるイベントの開催や他事業者との連携による効果的なキャンペーン展開を行ってきた成果であり、今後も継続的に実施していくことが望まれる。また、昨年の課題であった人員配置の適正化や人材育成の強化など、人的サービスの充実に取り組み、顧客満足度の向上が図られている点も評価できる。 一方で最低賃金の引き上げや光熱水費の値上げ、消費税増税など、外的要因により経費が増加しており、収支はマイナスとなっているが、平成27年度以降、料金改定も含めた収支バランスの改善が見込まれている。 今後も、イベント開催やプロモーションの実施など、より一層のキャンペーン強化や顧客満足度の向上に努め、利用者数の増加を図るとともに積極的な地域活性化への取組を期待する。	A
「総合福祉センター」 秋川ふれあいセンター	平成26年4月1日～ 平成31年3月31日 （5年間）	健康福祉部 生活福祉課 庶務計画係	秋川ふれあいセンターは、平成6年4月から業務を開始し、21年が経過、老朽化による設備の故障や雨漏り等の発生が多くなっていますが、不具合のある箇所については、可能な限り修理や改善等を行い、利用しやすい施設とするための対策に取り組んでいます。今後も、施設や設備の管理をしっかり行い、利用者が快適・安全に利用できるよう努めるとともに、施設利用について広く周知に努め、利用の増進を図ります。	<市民サービスの向上> 引き続き、活性化プロジェクトの継続、デザインボランティアによる館内のイメージアップとグリーン（園芸）ボランティアによる花壇の手入れなどにより、市民サービスの向上を図り、施設の利用促進に努めてください。 <経費削減の取組> 平成25年度に比べ維持管理費が200万円ほど減少しています。引き続き、経費節減に努めてください。 <指定管理者の管理に係る総括的な評価> 電気使用量削減のため、デマント監視の導入やグリーンカーテンの設置などにより経費節減につながっていると思います。引き続き、市民に親しまれる施設となるよう、より良い改善をしていただき、利用率の向上に努めてください。	A
社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会					

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成26年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価(※)	所管課による評価(※)	総合評価(※)
「障害者通所支援施設」 ・希望の家 ・ひばり分室	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日 (5年間)	健康福祉部 障がい者支援課 障がい者支援係	利用者には、それぞれの状況に合ったサービスの提供を行っている。地域の施設として、地域の方々や多くのボランティアの協力を得て、様々な活動を実践することにより、利用者がより多くの経験を得ることができるよう努めている。また、保護者との連絡を密にすることで、より高い信頼・評価を得ることができるよう努めている。収支状況については、繰越金の増により、次年度より基金の繰替運用をしなくても済むようになったが、障害福祉サービス等の基本報酬の見直しにより、3%程度の収入減が見込まれるため、今後は事業運営の面で、経費削減の取組等がより必要になってくると思われる。	<市民サービスの向上> 通所者に対し個別支援計画を作成し、個別対応などの献身的な指導を行っており、また、保護者とは連絡帳などで意見・要望等の把握に努めており、利用者及び保護者との信頼関係の中で、事業運営に努めていることが伺え、高く評価できる。 <経費削減の取組> 人件費や維持管理費の縮減に取り組んでおり、高く評価できる。 <指定管理者の管理に係る総括的な評価> 人件費や維持管理費の節減に向けた取組、サービス面で一人ひとりに目を向けた個別支援、定期的に保護者会を開催するなど、丁寧な取組は高く評価できるものである。今後、事業を実施する上で、より一層の質の向上を目指すとともに利用者の増加に向けた取組など、課題の克服に向けた取組を進めることを願う。	A
「高齢者在宅サービスセンター」 ・萩野センター	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日 (5年間)	健康福祉部 高齢者支援課 高齢者支援係	通所、自主事業共に利用率の向上により収入は増えたが、事業を展開するにあたり掛かる経費とのバランスは改善が必要と考えます。また、施設の老朽化により修繕が必要な部分も明確化されており、今後は利用者の安全確保のため適宜定期検査を実施すると共に、必要な修繕は速やかに行えるように業務を遂行していきます。	<市民サービスの向上> 利用者の身体状況や残菜の状況、活動の内容に関する声を聞き取るなど、きめ細やかな支援をしており、職員の意識の高さについても評価できます。現状のプログラムを継続するだけでなく新たなプログラムに前向きに取り組んでおり、利用者の増、イメージ作り、雰囲気作りに良い効果を上げているといえます。今後も利用者の増に向けて、啓発・広報活動に努めていただくようお願いします。 <経費削減の取組> 職員だけでなく利用者を含めたりサイクル活動の意識向上に努めています。施設管理においても、法人全体で経費削減に取り組んでおり評価できます。 <指定管理者の管理に係る総括的な評価> 通所事業・自主事業共に積極的な事業運営ができており、市民サービスの向上に大きく貢献しています。今後も引き続き啓発・広報活動を実施すると共に、事業の収支バランスの適正化に努めてください。	A

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成26年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価(※)	所管課による評価(※)	総合評価 (※)
「高齢者在宅サービスセンター」 ・開戸センター	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日 (5年間)	健康福祉部 高齢者支援課 高齢者支援係	2年目を終えて、通所のご利用者だけでなく、一般市民の方々がセンターに来ていただけるようになったことは、高齢者在宅サービスセンターの役割や存在を知っていただく上で大きな進歩だったと実感しています。今後は異世代交流なども取り入れながら、地域に密着したセンターを目指します。 開戸は地域性なのか、げんき応援事業にて一般の方からの申し込みがほとんどない月が多かったのですが、企画を工夫することで少しずつ利用される方が増えてきました。次年度も地域に密着したセンターを目指し開戸センターを運営していきます。	<p><市民サービスの向上> 職場体験や夏ボランティアの受入など、社会参加という視点での事業実施がなされており、利用者にとっても新鮮な体験となっています。また、げんき応援事業の利用者も昨年度に比べ、増加しています。今後も引き続き啓発・広報活動を実施し利用者の増に努めてください。</p> <p><経費削減の取組> 職員の意識付けと組織としての取り組みがなされ、経費削減に努めていると評価できます。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 利用者の減少がありましたが、今後も魅力的な活動が提供でき、新たな利用者が楽しんで通所できるよう努めてください。また、施設の維持管理等、引き続き経費削減に努めるようお願いいたします。 自主事業の利用者も増加しているので、更に開戸センターが地域の方に周知されるよう努力すると共に、収支バランスの適正化に努める必要があります。</p>	A
医療法人財団 暁				<p><市民サービスの向上> 通所事業では、昼食後の歩行訓練や定期的な体力測定を行うなど、介護予防の視点での活動ができており評価できます。げんき応援事業でも地域性を活かした事業運営が行われており、今後も事業参加者数の増加が見込めます。引き続き事業内容について検討を重ね、より魅力的な活動となるよう努めてください。</p> <p><経費削減の取組> 職員全体として経費削減に取り組んでいると評価できます。今後も電気の使用料の削減や施設管理経費の削減に努めてください。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 通所事業の利用者増に向けて啓発・広報活動を引き続き実施してください。また、げんき応援事業については、駅の近くという立地条件の良さを活かし、より多くの市民が活動に参加できるよう創意工夫に努めてください。事業の収支バランスの適正化について、計画的な取組を進めてください。</p>	
「高齢者在宅サービスセンター」 ・五日市センター	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日 (5年間)	健康福祉部 高齢者支援課 高齢者支援係	通所、自主事業共に利用状況は今後も増加が見込まれ、施設の整備や修繕を適宜行っていく必要があると考えます。「高齢者の施設」のイメージを払拭し、高齢者のみならずセンターが地域資源として活用されることを期待します。また介護職員初任者研修では、今後ますます需要が高まる介護職の人材確保のために、更に質の確保、向上を図りたいと思います。	<p><市民サービスの向上> 通所事業では、昼食後の歩行訓練や定期的な体力測定を行うなど、介護予防の視点での活動ができており評価できます。げんき応援事業でも地域性を活かした事業運営が行われており、今後も事業参加者数の増加が見込めます。引き続き事業内容について検討を重ね、より魅力的な活動となるよう努めてください。</p> <p><経費削減の取組> 職員全体として経費削減に取り組んでいると評価できます。今後も電気の使用料の削減や施設管理経費の削減に努めてください。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 通所事業の利用者増に向けて啓発・広報活動を引き続き実施してください。また、げんき応援事業については、駅の近くという立地条件の良さを活かし、より多くの市民が活動に参加できるよう創意工夫に努めてください。事業の収支バランスの適正化について、計画的な取組を進めてください。</p>	A
医療法人財団 暁					

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成26年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価 (※)	所管課による評価 (※)	総合評価 (※)
「産業文化複合施設」 あきる野ルピア	平成26年4月1日～	教育部	運営費が計画より増加しているため、光熱費を5%削減できるよう努めます。さらに、裏紙使用の徹底等により、消耗品費を抑えるよう運営してまいります。	<p><市民サービスの向上></p> <p>施設利用者や自主事業の来館者へアンケート調査を実施することにより、市民ニーズの把握に努めている。また、生涯学習講座を開催している利用者への広報活動支援を継続して実施しており、施設利用の促進と利用者の利便性の向上を図っている。</p> <p><経費削減の取組></p> <p>節電に向けてテナントと協力体制を構築するなど、積極的な経費削減を行っている。</p> <p><指定管理者の管理に係る総括的な評価></p> <p>施設の有効利用を図るため、テナントと協議の上、会議室の空き時間の活用など、施設全体の利用促進に向けた改善策を講じていく必要がある。また、近隣施設との連携により、魅力的な自主事業を実施できているが、地域の活性化や賑わいの創出のため、より多くの機会を提供していくことが望ましい。</p>	B
株式会社コンベンションリンケージ	平成31年3月31日 (5年間)	生涯学習スポーツ課 生涯学習係			
「市民文化ホール」 秋川キララホール	平成25年4月1日～	教育部	利用者数は、空調機器改修工事期間を除き順調に開館できたため、計画を上回りました。事業面では、コープサービス等の新規販路の開拓、さらにメールマガジンの配信も開始し、広報宣伝活動の強化に努めましたが、主催・自主事業収入とも計画を下回る結果となりました。蓄積したノウハウを踏まえて、幅広い集客を進め、収支状況の改善に努めてまいります。	<p><市民サービスの向上></p> <p>ランチタイムコンサート1件、無料のエントランスコンサート6件を実施し、昨年にも増して市民が気軽に音楽鑑賞できる機会を提供しており、市民サービス向上への取組は評価できます。今後も市民サービスの充実に努めて下さい。</p> <p><経費削減の取組></p> <p>光熱水費や消耗品等のランニングコストを抑える取組や、職員のフレキシブルなシフト勤務による人件費の抑制により経費全体の削減が実現できています。今後も継続して取り組んで下さい。ただし、職員の勤務シフト作成に当たっては、窓口対応等に支障のない体制を組むよう、気を付けてください。</p> <p><指定管理者の管理に係る総括的な評価></p> <p>事業収入等の確保に向けて、市民のニーズに基づく話題性のある魅力的なコンサートの実施や、チケット販売における広報宣伝活動の強化および継続的な情報発信、また、来館者サービスの強化によるリピーターの獲得など、引き続き抜本的な対策を講じる必要があります。</p>	A
秋川キララホール 運営共同事業体	平成30年3月31日 (5年間)	生涯学習スポーツ課 生涯学習係			

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成26年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価(※)	所管課による評価(※)	総合評価(※)
「体育施設」 五日市ファインプラザ	平成26年4月1日～ 平成31年3月31日 (5年間)	教育部 生涯学習スポーツ課 スポーツ推進係	<p>26年度から定期休館日を月2回とし、また年末年始休館日を1日減らして開館日数を拡大しました。</p> <p>(前年と比べ29日開館日拡大)</p> <p>今年度の総利用者数は171,478名で前年に比べ11,841名の増加となりました。開館日を拡大したことで市民の皆様により多くの利用機会が提供できた結果だと考えております。</p> <p>自主事業物販では商品の拡充、自動販売機の増設等を行い、利用者の方がより快適に施設を利用できるように努めました。また障がい者施設「NPO 法人秋川虹の家」で製造したクッキー販売を開始し、障がいを持った方の支援も実施しております。</p> <p>自主事業教室では開館日の拡大にあわせて教室を増設しました。市民の方の健康増進のお手伝いができるよう様々な種目を取り入れ実施し、多くの方に参加していただきました。</p> <p>収支状況の収入面では、自主事業収入が物販収入減少の関係で前年より減少となりましたが、利用料金収入は開館日数拡大の効果もあり前年より増収となりました。トータルでは前年に比べ102.5%増加しております。</p> <p>支出面では開館日数が増加したため、計画の範囲内ではありますが、人件費及び光熱水費が大きく増加しております。</p> <p>収支は前年より減少しておりますが計画は上回っており、開館日拡大初年度としては順調な収支状況となっております。</p> <p>次年度はサービスレベルを低下させることなく省エネ等経費削減に努め、更なる収支の増加を図りたいと考えております。</p> <p>総括として26年度は大きな事故もなく、多くの方に利用して頂いた事が大きな成果だと考えております。27年度も利用者最優先の運営を心がけて行きたいと思っております。</p>	<p><市民サービスの向上></p> <p>開館日を増やしたことにより、大幅な利用者数の増加が図られましたが、自主事業については減少しているため、利用者のニーズに合った自主事業や新規事業を展開し、参加者の増加につなげてください。また、利用者が気持ちよく施設を利用できるよう施設管理は十分に行い、市民サービスの向上に心掛けてください。</p> <p><経費削減の取組></p> <p>開館日数が増えたが光熱水の使用量が計画内に抑えられたことは、電気の不要箇所の消灯や空調の調整など徹底した取組がなされた結果だと思えます。今後も利用者の体調面に配慮した上で使用量の削減に努めてください。</p> <p><指定管理者の管理に係る総合的な評価></p> <p>結果的に大幅な利用者の増加となりましたが、開館日数による増加に頼ることなく、自主事業参加者の増加を目指した事業の充実を図ってください。また、サービスの低下から利用者が減少することがないように、引き続き経費の節減に努めてください。</p>	A

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成26年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価 (※)	所管課による評価 (※)	総合評価 (※)
「体育施設」 市民プール	平成27年4月1日～	教育部	<p>利用状況は、今年度の総利用者数（自主事業教室参加者除く）が、68,603名となり、前年に比べ7,736名減少となりました。要因としては、夏期の悪天候による屋外プールの利用者数の減少が挙げられます。</p> <p>なお、屋内プールは、前年の利用者数を上回ることができました。</p> <p>自主事業は、利用者の意見を取り入れた新たな自主事業教室の展開、各種イベントの実施、屋外プール無料開放を行いサービス向上に努めました。</p> <p>収支状況の収入面では、屋外プールの影響もあり減少しました。自主事業の教室収入は増加し、収入計で前年を上回ることができました。</p>	<p><市民サービスの向上></p> <p>自主事業への参加者の増加は、市民のニーズに対応した教室を実施しているものと思います。今後、高齢者や障がい者を対象とした教室を増やすなど、事業の展開に努めてください。</p> <p>また、利用者が満足して利用していただけるよう、常に利用者の声に耳を傾けるとともに、施設を清潔に保つよう努力してください。</p> <p><経費削減の取組></p> <p>ヒートポンプの活動時間の見直しで、効率的な節減が図られています。今後も引き続き節減に努めてください。また、利用者が無理なく協力できる範囲で節電・節水を心掛けてください。</p> <p><指定管理者の管理に係る総括的な評価></p>	A
シンコースポーツ・ア ズビル共同事業体	平成32年3月31日 (5年間)	生涯学習スポーツ課 スポーツ推進係	<p>支出面は利用者の方のご協力により節電を実施して、電気使用量前年比96.4%と削減することができました。今後もこまめな消灯を心がけ節電に努めてまいります。</p> <p>総括として、屋内プール・屋外プールともに大きな事故なく運営できたことが一番の成果だと考えています。</p> <p>27年度は、利用時間を拡大し、市民の方の利用機会拡大とサービス提供を行っていきたいと思います。</p>	<p>天候の影響により屋外プールの利用者が減り、年間利用者数が大幅に減少しました。それに伴い利用料金の収入も減少していますが、自主事業収入においては、るのカードの取り入れや物販の工夫などの取組の成果が出ていると思われます。経年劣化による更衣室の汚れやロッカーの錆など利用者から改善の要望がありましたが、早急な対応により改善が図られました。</p> <p>引き続き自主事業教室の充実を図るとともに、利用者の視点に立った施設管理を行い、利用者数の減少につながることをないよう努めてください。</p>	

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成26年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価（※）	所管課による評価（※）	総合評価（※）
<p>「体育施設」 秋川体育館</p> <p>「公民館」 中央公民館</p> <hr/> <p>あきる野市体育・文化 施設運営事業体</p>	<p>平成25年4月1日～ 平成30年3月31日 (5年間)</p>	<p>教育部 生涯学習スポーツ課 スポーツ推進係 公民館係</p>	<p>利用状況は、今年度の利用者数（自主事業教室参加者除く）が255,787名となり、前年に比べ27,492名の増加となりました。秋川体育館、中央公民館ともに増加しました。要因として、開館日数の拡大、自主事業教室との相乗効果、体育協会の初心者講習会実施が挙げられます。</p> <p>自主事業は、参加者のニーズに合わせたスポーツ教室の展開、各種イベントの実施により、サービス向上に努めました。</p> <p>収支状況では、収入面で昨年に比べ増加しましたが、自主事業収入が目標を下回ってしまいました。教室参加者のニーズをより的確に捉え、教室事業の充実度を向上させ、収入の増加に努めてまいります。支出面は電気使用量の増加により維持管理経費が、教室展開により自主事業経費が、目標を超えてしまいました。</p> <p>総括として、利用者が安心・安全に利用できる快適な施設運営を心掛けた結果、1年間大きな事故も無かったことです。</p> <p>平成27年度の課題は、収支状況の改善を行うとともに、計画に対する達成率の向上を目指した運営を展開していきたいと考えています。</p>	<p><市民サービスの向上> 開館日を増やしたことにより、大幅な利用者数の増加が図られました。また、自主事業教室についても参加者が増加しており、市民のニーズに合った教室やイベントを行った成果と思われます。また、新規事業の取組も市民サービスの向上と考えます。今後も利用者が満足して施設を利用できるよう施設管理は十分に行うように心掛けてください。</p> <p><経費削減の取組> 開館日数が増えたことにより光熱水の使用量が増加しています。電気の不要箇所の消灯や冷暖房設備の調整などを徹底し、利用者の体調面に配慮しつつ、サービスの低下とならないよう使用量の削減に努めてください。また、設備面でのコスト削減も引き続き検証を行ってください。</p> <p><指定管理者の管理に係る総括的な評価> 開館日数の増加により大幅に利用者数が増加しましたが、維持管理経費などの支出が増え、収支状況はマイナスの決算となっています。自主事業収入は前年度と比較し増加していますが、計画目標に向けた事業の展開に努めてください。また、施設運営にあたり担当者が不在になることが見受けられましたが、計画に基づいた人員配置に改善されました。今後、サービスの低下から利用者が減少することがないように、引き続き経費の節減に取り組み、次年度はプラス決算となるよう努力してください。</p>	<p>A</p>

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。